

寂身法師集

草間蛩

野べの風ふくともきえじ夏草の
下てる露は蛩なりけり

詠百首和歌 寛元三年於関東詠之
夏十首

蛩とぶあまの磯屋に風過ぎて
きえぬあし火の影ぞみだるる

詠四十八首和歌 宝治二年七月日或所勸進
蛩

ほたるとぶ野原の草に風ふけば
きえぬものから露ぞみだるる